



平成 23 年 12 月 8 日

各 位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 田 島 秀 二
(コード番号：7707 JASDAQ)
問合せ先 常務取締役 業務本部長 秋本 淳
(TEL 047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

PSS の全自動解析装置 geneLEAD で牛白血病ウィルスを測定評価

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社(以下 PSS)は、沖縄県八重山農林水産振興センター家畜保健衛生所(座喜味聡所長：沖縄県石垣市大川 99)との間で、牛の白血病ウィルス検出において、PSS が開発中の全自動遺伝子解析装置 geneLEAD を使用した共同研究を実施しております。

このほど、同家畜保健衛生所による geneLEAD 測定結果がまとめられ、その測定精度がこれまでのリアルタイム PCR 測定と遜色のないレベルであったとの評価を得ました。また、共同研究を指導した同家畜保健衛生所の新田芳樹主任技師からは、抽出から検出までの工程が自動化されているため「誰でも使える簡便で現場向きの装置」であること、閉鎖的な装置機構であるため検体間汚染（コンタミネーション）の心配がなく、作業者による誤差の少ない等の指摘がありました。

この共同研究の背景には、石垣島を中心とする八重山地域で、地方病型牛白血病を疑う病性鑑定依頼頭数の増加があります。牛白血病は、牛白血病ウィルス(BLV)に起因し、発症すると致死性で感染源となるため、生前検査で発症牛を早期に摘発することが必要とされています。しかしながら、農業災害補償法における牛白血病廃用基準に適合しない症例も見られること、また、確定診断には病性鑑定マニュアル上、解剖による病理組織学的検査が必須であり、生前での確定が困難な状況にあります。このため、今回、簡易な生前診断の可能性として、PSS の全自動遺伝子解析システム geneLEAD による BLV 測定が実施されたものです。

今回の牛白血病ウィルス検出での評価は geneLEAD の確実な開発進捗を示すとともに、その応用範囲の広さが現場の研究者によって裏付けられたものと考えています。共同研究の成果は 11 月 22 日に那覇市の沖縄県庁で開催された「第 38 回沖縄県家畜保健衛生業績発表会」で、「牛白血病の生前診断に係る一考察」との演題で八重山家畜保健衛生所主任宮良あゆみ氏から発表されています。

geneLEAD は、インフルエンザ、HIV・HBV などの感染症ウィルス検出、体質判定、副作用・薬効予測などのテーラーメイド医療領域での利用が期待されています。

以 上